

道東地区教会連合会機関誌



道東 42 光報



'DŌTOKŌHŌ', Newsletter of KONKOUKYOU East Hokkaido reg., No. 42 Apr., 2019

巻頭言 『いまこそ、金光大神の世界を』

金光教釧路教会長・江郷繁樹

五月一日に新天皇が即位するのにあわせ、四月一日に新元号が「令和」と発表になり、テレビ映像はもとより、新聞各社は競って、新元号の解説や典書、各会の代表や市民の感想などを報道しています。それを読みながらハツとがついたことがあります。

○
現生人類には、時間に対してシンボルを当てはめようとする面があった。

まず、王の即位何年という言い方で、四千年前の古代オリエントですで行われていた。ただ、支配者はいつかは死ぬので、これは有限だ。他方では、六〇年で一巡する干支のように循環するもの

も出てきた。
そして最後に、西暦のような、キリストが生誕してから何年目といった、無限に続くものも出てくる。

○
日本の元号は有限だから、四千年前と同じやり方だが、日本国で今やっていていることが非常に面白い。という記事もあった。

○
令和の典書は「万葉集」でオオトモノタケヒト大伴旅人で、大宰府の公邸で宴を催し、招かれたのは九州一円の役人や医師、おんみょうじ陰陽師ら三十一人。庭に咲く梅を詠み比べる歌宴だ。「初春の令月にして、気淑く風和ぎ」。旅人の書き残したとされる

開宴の辞から採られたのが、新元号「令和」である。

漢文学者の白川静さんによれば、令の字は神のお告げをひざまずいて受ける人の形だそう。命令、指令の令。神意に従うことから「良い、りっぱ」の意味になったらしい。

○
政府は元号について、

▽国民の理想としてふさわしいようなよい意味

▽漢字2字

▽書きやすい

▽読みやすい

▽これまでで元号またはおくり名として用いられたものでない

▽俗用されているものでな

い（広く一般に使われていない）と定める。

こういう新元号にかかわる文章の拾い読みをしながら、人間そのものを考える根底に、歴史を踏まえて、東洋人も、西洋人も、どの民族も、貴族らも、庶民も、今の時代に生きている限り、今のものの考え方に影響されながら、喜怒哀楽の生活をして生きている。



金光大神も、これから人間の生活は変わらなと話している。されど、金光大神の生み出された神は、天は天にあるのではなく、大地と共にあり、その天地が生きているから、人間も、動物も、草木なども、みな天の恵みを受けて地上に生きていられると話される。

もちろん、天地の中に生きる人間としてみな平等の精神を持ち、どの国も、民族も、それぞれの文化を築いてきている事を尊敬し、現世も隔離世もなく皆が救われていく、そういう世界を現してくだされた。そういう世界を現していきたいと願う。

各教会 大祭日程

春

秋

釧路	5月26日（日）	10月20日（日）
北見	5月3日（祝）	11月3日（祝）
十勝	4月14日（日）	11月17日（日）
帯広	4月21日（日）	11月10日（日）
網走	5月19日（日）	10月27日（日）
滝上	4月28日（日）	10月13日（日）

教会掲示板

教会からあれこれ

網走教会

網走市北四条西一丁目六番地
TEL 〇一五二四三三九五四
FAX 〇一五二四三三九五四

滝上教会

紋別郡滝上町元町士別通り

「楽しみに読ませて頂いております。そして時には我が身に置き換えて、反省の機会も頂き感謝しています。」

これは本州の方で、毎月送る当教会信徒会だよりへの感想をお手紙でくださったものです。非常にありがたいと思いました。

本教には「聴教」という言葉があります。これは、「日参（日々教会に参拝すること）に並んで信心習得のため、おかげを頂くための大事な営みです。」

文字通り教えを聴くということですが、「聞く」ではなく「聴く」という漢字が使われているにはそれなりの意味があると思われます。

「聴く」には「聞く」よりもより積極的に耳を傾けるという意味があるからです。しかも「聴く」には「心」という字も入っています。

教祖様は、

「此方の道は祈念祈祷で助かるのではない。道を歩きながら話（教えや信心の話といった意）をしても、畑の岸に腰をかけて話をしても、得心がいけばおかげになる。」と仰せになつてゐることは真に勿体なく畏れ多い事でございます。

普段の生活においてもそうであるならば、教会にお参りして、御取次を願い出て（願い事など）お届けをす

る」とも言う）、御結界の先生（金光様のお手代わりである取次者）からのお話しに、真摯に耳を傾ける事が出来れば、尚のこと神様のおかげがあるというものです。

また、月例祭やご大祭などの祭典後の教話や本教から出されている書籍などで語られていることに耳を傾けることも「聴教」の一つであり、心から得心がいけば、広大なるおかげの世界が現れてまいります。

教祖様ご立教から一六〇年、その長きにわたって多くの先生や信徒の方々が「聴教」によるおかげの世界を体現なさってきたのが実に際でございます。

しかしながら、この「聴教」がなかなか難しく、「この話は知っている、同じ話だ」「これは誰々に聞かせ無

ければ」と思ってみたり、話し手の年齢や容姿、性別に惑わされ、相手を重くみたり軽くみたりすることなどや、他にも話術や文章力としての上手い下手ということなどに、ついついとらわれてしまっています。

これらはすべて我情我欲からくる受け止め方の不味さによるもので、せっかく頂けるおかげを取りこぼしてしまっています。勿体ない事でございます。故に、お便りを下さった方の様に、「我が身に置き換えて」という内省ができるというは大変有り難いことだと思ったのです。

教祖様は「神は平等におかげを授けるが、受け物が悪ければおかげが漏るぞ。」ともみ教え下さっています。

どんなに偉くなっても、どんなに年を重ねても、謙虚な心でお話の向こうにある親神様の御心を取りこぼさぬようし、これから執り行われる春の御大祭を共々におかげ蒙りたいと念じているところです。

北見教会

北見市寿町三丁目五番一号
TEL 〇一五七―二四―七四七四
FAX 〇一五七―二四―七四七四

（菊川）

街中の雪が消え桜前線北上中など聞くと花咲く季節が一層待ち遠しい今日この頃、今回は読まれた方もあると思いますが、過日新聞に投稿された「声」をご紹介します。

「桜を知らないの?」「知らないんだ」。友達と行ったお花見で、彼女があまりにも桜

を見て感動するものだから私は冗談のつもりで聞いた。知らないなんてそんなはずはない、なぜならもう何度も一緒にお花見に行っていたのだから。意味がわからず聞き返してしまった。彼女は「私は桜の全部を知っているわけじゃないからね」と言った。私は彼女のその言葉を聞いてはつとまった。私は桜をなんとなくでしか見たことがなかった。わたしはずっと、桜を知っているようで知らなかったのかもしれない。

それから私は今までなんとなく見てきたものを本当の意味で知ることが出来るよう日々考えながら過ごしている。彼女のおかげで知らないことを私は知れた。

「知らない」の深さに気づ

く二人の女子高生の感性の瑞々しさが今の私にはまぶしい。何気ない一言、何気ない出来事に目が開く感動は日常の暮らしの中にこそある、何事にも関心を持ち考え話し合うことを日々進む老老化を防ぐためにも心がけなければ。

(矢代)

帯広教会

帯広市東四条南八丁目四番地
TEL 〇一五五―一三一六八三五
FAX 〇一五五―一三一六八三五

例年10月中旬に境内の草木に薫^{わら}を巻き冬囲いを行い生神金光大神大祭を迎えます。そして4月の天地金乃神大祭前に囲いを外す作業をしております。

今年の冬は雪も少なく寒さも厳しくなかった様に思われます。早くも境内の福寿草も咲き始めました。そ

して囲いの中では牡丹の新芽が膨らみかけております。もう春の兆しを感じられます。(ちよっと早いですが4月1日夏タイヤに交換しましたが、3日に雪が降りました)4月1日新しい元号が発表されました。

悠久の歴史と薫り高き文化、四季折々の美しい自然。

こうした日本の国柄を、しっかりと次の時代へと引き継いでいく。厳しい寒さの後に春の訪れを告げ、見事に咲き誇る梅の花のように、一人ひとりの日本人が、明日への希望とともに、それぞれの花を大きく咲かせることができると。そうした日本でありたい、との願いを込め、「令和」に決定いたしました。

平成の時代は東日本大震災を始め多くの自然災害が発生し、災害の多い30年の様

に思います。「令和」は願いのとおり私たち人間に明るい希望をもたらすのか。令和の願いとは裏腹に自分中心主義が増えていくのか。元号が変わっても生活には影響がないかもしれません。しかしそれぞれの生活が立ちゆくことを願っていききたいと思えます。

現代社会は便利になり、豊かになりどんどん進化していきます。必要があるとかないか関係なく社会は変わっていききます。今騒がれているのがキャッシュレスやAI化があります。国際化に向けて政府ではキャッシュレスに対応できるいろいろな手立てを講じています。最近、話題になったのがある神社のお賽銭箱の横に「楽天EDYマークのある木箱が置かれてあり、1円単

位で任意の金額をお賽銭できる。とありました。将来教会にもキャッシュレスが求められる時代になる可能性もあります。しかし高齢化社会にとつてどうなのか。またAI化が進むと良し悪しにつけいろいろな問題が出てくるのではないのでしょうか。このことについてお結果にロボットが座っていることは考えられません。なぜか、それは人間にはAIにはない感性があります。多様なデータの積み重ねても人間を助けない、かわいそう、なんとかしたい、願わずにはおれないという神心が備わっています。そういうところAIには難しいかと思われまます。

文明開化について金光様は、「私は汽船も電報も知りませんが、まだ速いことが

あります。日乃大神様は、朝から晩までに東から西のはしへ、ずうっとお入りになってしまう」と仰せられました。どんな時代になっても天地の働き、恵みに目を向けて、願い合い支え合うこと、人間としての感性がこれからますます必要になって来るのではないでしょう。

さらに今年は立教一六〇年のお年柄を迎えました。改めて立教の意義を頂き直し人のお役に立つおかげを蒙ってまいりたいと思います。

(田中)

釧路教会

釧路市宮本一丁目五番二二号
TEL 〇一五四―四一―三五一
FAX 〇一五四―四一―一三六一

釧路教会の婦人会では、毎月1回の集会を持っています。これまでも何かのパン

フを使って研修してきたが、教務センターのおかげで、ご本部から神人の全冊号を頂いて、昨年の12月から読み始めました。

その意味で第1集「良い仲は生み出される」を途中まで読んで、話し合いをしました。すると、この話を読んで、釧路町に住むボランティアをしている(信奉者で、教会にお参りしている)方が、この話知っている。と言いました。介護のボランティアか何かの講習で、この話をしていたというのです。

多分神様とか、ご本部参りとか、金光駅とか、そういう力を省いて話していたのではないかと思いますが、話を聞いた方が、この講習が先で、この本は後から作ったものと思っているようでした。

教会長である私は、それでも有り難いなあと感じました。講習した方が、どうしてこの「神人」を手に入れたのか知りませんが、何かのてづるがあつたのでしょうか。金光の信心の話が、誰かに利用されたとしても、認知になつて行く奥様の生き様に感動されて、介護する人も心にとまってもらえば、それこそおかげだなーと思ったからです。

この「神人」のどこを観ても、発行年月日を書いていませんが、私は、多分この本の、金光教の先生夫妻の体験談があつてこの話が生まれたのですから、第1集ですから、年に1回であれば、30年先に、年2回であれば、15年先にこの「神人」が発行されていると思うし、その体験談がなければこの話はないの

ですから。

こういう形でも、こういうように利用されているのであれば、古い「神人」がまだ残っているのであれば、ボランティア団体、とくに介護にかかわるボランティア団体などに寄贈して利用して頂ければ信心の世界が広がります。読んでもらうてはいかがと思います。

金光教はなどいろいろを外されても、この「神人」が資料になつて、心の豊かな世界が広がるのなら、まさに世のお役に立つことではないかと思えます。少なくとも、「神人」を手にして資料として使うその方には、金光教の信心パンフだ、ということは解って頂けているのではないかと思えます。

(江郷)

十勝教会

池田町旭町一丁目九番地二二
TEL 〇一五五七―二一三三二
FAX 〇一五五七―二一四二二

間もなく平成が終わり令和へ元号が変わります。

マスコミは平成を振り返る特集を組み、新しい時代が始まるかのようにドラマチックな瞬間を演出していますが、我々にとっては、元号訂正の期間が増えるだけで生活に大きな変化はなく、平成令和熱は一瞬で冷めてしまうことでしょう。

明治、大正、昭和という歴史が大きく変わった時代を経て平成になり、個人のあり方も、「国家にとって、会社にとって、家にとって必要な人でなければならぬ」という立場から「個人の生き方」が尊重される時代に変わってきました。言っ

てみると一人一人が各自で生きる目標を持たなければいけない時代になったというところでもあります。

欧米の個人主義は、多くの場合、根底にキリスト教やイスラーム教といった信仰による価値の繋がりがあり、そこに家などの集団の繋がりがあって成り立っています。しかし、日本では国や家、会社といった人との繋がりを失った中での個人主義になってしまい、それは単に非寛容、排他性を助長したに過ぎないように思います。そして、そういう人たちが共感しヘイト活動になったり、活動はしないまでもSNSなどで匿名の「いいね！」をしちゃってるのではないのでしょうかね。

そういう私たちは、信心という繋がりをもっているはずですがいかがでしょうか？

他人を認めていますか？寛容ですか？

「おかげは和賀心やわがこころにあり」
「おかげは和らぎ賀ぶ心やわがこころにある」ことを忘れていませんか？

(玉置)

行事報告

▼平成三十一年度総会

- ・日時 平成31年3月24日
- ・会場 帯広教会
- ・出席者 12名
- ・内容 平成30年度活動及び会計報告
平成31年度活動計画及び予算
今後の連合会活動について教師会、信徒会に分かれて懇談

北海道教区

立教一六〇年研修会

・7月15日(月・祝)

13時30分～15時

・札幌市ホテル

ノースシティ

☆平成31年「運動」道東地区集会・交流会

9月7日(土)13時30分から地区集会

終了後、懇親交流会

☆KONKOあれこれ塾「金光教の終活」

9月8日(日)9時から12時

会場はどちらも十勝教会です



道東地区教会連合会ホームページ
(PC用)

<http://kontoka.webcrow.jp/doto>